

営農技術情報

一畑作（大豆④）一

令和元年 7月8日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524

JA道北なよろ TEL01655-3-2521

JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～今後の管理について～

本年は、は種時期や出芽良否によるほ場間の生育差が大きい状況です。ほ場ごとの生育状況に合わせて作業を進めて下さい。

(1)5月上旬～中旬には種したほ場

出芽後からの高温推移で生育が進んでおり、まもなく開花が始まる見込みです。

追肥を行う場合は、地力や前作を考慮した上で実施して下さい。

○開花前の追肥の目安

①一般畑

追肥時期	追肥量
開花始め頃（7月中旬）	窒素 4～5kg/10a 程度

②水田転作畑（「道北転換畑における追肥対応（平成18年道指導参考）」より）

調査時期・方法	1個体の根粒数	対応
開花期に10個体程度を掘り上げ	10個未満	開花期に窒素成分で10kg/10aの追肥
	10個以上	追肥不要

(2)5月中旬以降には種したほ場

①出芽の早かったほ場（6月中旬までに出芽）

現時点で本葉3～4葉期を迎えています。中耕作業は開花前の7月中旬までに完了するようにしましょう。

②出芽が遅れたほ場（6月中旬以降に出芽）

出芽が遅れた株は、例年より葉数が少ない状態で開花が始まります。このため、出芽の早い株と開花時期の差は小さくなります。ほ場内での生育がバラついている場合は、生育の進んでいる株に合わせて作業を進めて下さい。

なお、生育初期の追肥は根粒菌の着生を阻害したり、生育を遅らせる原因にもなります。本葉展開後に葉色が薄い場合は、葉面散布で対応するようにして下さい。

(3)害虫防除について

少雨・高温で推移しているため、害虫の発生が早く、頭数も多い状況です。

葉に食害痕等が見られる場合は、早めに防除を実施するようにしましょう。

【防除薬剤例】（登録内容は7月5日現在）

薬剤名	系統	使用倍率	使用時期	使用回数	効果	アブラムシ	ツメカガ
エルサン乳剤	有機リン	1000倍	収穫7日前	2回以内	速・短	○	○
ゲットアウトWDG	ピレスロイド	3000倍	収穫7日前	3回以内	速・長	○	
トレボン乳剤	ピレスロイド	1000倍	収穫14日前	2回以内	速・中	○	○